



2021年5月11日

会社名 株式会社TOKAIホールディングス
代表者名 代表取締役社長 鵜田 勝彦
(コード番号：3167 東証第一部)
問合せ先 取締役常務執行役員 中村 俊則
(TEL：054-273-4804)

TOKAI グループ中期経営計画「IP24」について (Innovation Plan 2024 “Design the Future Life”)

TOKAI グループは、サステナブルに成長し続け、人々の生活を創る企業グループを目指し、2021年度から2024年度までの4ヵ年を対象とする「TOKAI グループ中期経営計画「IP24」(Innovation Plan 2024 “Design the Future Life”)」を策定しました。

これまでTOKAI グループは、LPガスなどエネルギーやアクア、インターネット、CATVなど日常生活に必要なインフラサービスを軸に事業を展開してまいりました。今や世界中に広がる新型コロナウイルス感染症や地球温暖化など世界的な環境課題により、人々の暮らしは、生活様式の見直しから脱炭素社会の実現に向けてまで、大きな変革が求められております。

TOKAI グループは、企業理念である「お客様の暮らしのために、地域とともに、地球とともに、成長・発展し続けます」を変わらない価値として、お客様のライフスタイルの変化、社会環境の変化に対応し、お客様の暮らしを支え、寄り添いながら、これからの新しいライフスタイルをデザイン・提供する“Life Design Group”への進化を目指し、新たな挑戦に取り組んでまいります。

【TOKAI グループ中期経営計画「IP24」の概要】

■基本コンセプト

TOKAI グループが掲げる*1 TLC 構想の実現に向けて、10年後には、Life Design Group という姿を目指し、一層のサービスの充実に取り組んでまいります。当社が思い描く Life Design Group とは、お客様の過ごしたいライフスタイルをデザイン・提案することを通じ、社会課題の解決に貢献していく姿勢であります。今回のIP24は、その基盤を造るステージと位置づけております。

*1 TLC 構想 当社グループが提供する様々なサービスにより、お客様の快適な生活を総合的、且つきめ細やかにサポートし、お客様の満足度の向上を目指すビジョンのこと。

■ 5つのキーメッセージ

① LNG戦略の推進

既存エリアのシェア拡大をローカル（L）、国内の戦略的エリア拡大をナショナル（N）、海外展開をグローバル（G）として、事業エリアを拡げ顧客件数の増加とともに、成長を支えてまいります。

② TLCの進化

顧客ニーズを的確に捉える「デジタルマーケティングの高度化」とコーポレートベンチャーキャピタルを核とする「オープンイノベーション」、これら2つの戦略をエンジンとして、TLCのさらなる推進を図ってまいります。

③ DX戦略の本格化

*2 アプサーズを活用したDX戦略に取り組み、上記の①LNG戦略、②TLCの進化について、横断的に牽引してまいります。

*2 アプサーズ 当社グループの技術革新へ向けた戦略のこと。AI（A）、Big Data（B）、Cloud（C）、IoT（I）、Robotics（R）、Smart Phone（S）、それぞれの頭文字を繋げた造語。

④ 経営資源の最適配分

営業キャッシュフローにより生み出された経営資源について、事業の将来成長に向けた設備投資などの成長投資と、株主価値の向上に向けた株主還元の充実を図りながら、最適と考える配分に努めてまいります。

⑤ SDGsに向けた取り組み強化

1. Green戦略

2030年度には、TOKAIグループの事業活動におけるCO₂排出量を70%削減するとともに、営業活動では高効率ガス機器の普及や太陽光発電の設置等により家庭向けガスCO₂排出量の50%に相当する量の削減を目指し、達成に向けて取り組んでまいります。そして、2050年までに当社グループが販売するガスを脱炭素化し、カーボンニュートラルの達成を目指します。

2. ワークスタイル改革

2021年4月より、出勤率50%、オフィス床面積40%削減を目指し、テレワークを導入しました。2024年度には、全社員（エッセンシャルワーカー除く）がリモートワークの対象となるよう進めてまいります。また2030年までに女性管理職数を現在の10倍、介護離職率0%を目標に掲げ、多様な人財の活躍推進を図ってまいります。

3. ガバナンスの強化

当社は、取締役の指名・報酬等に係る評価、決定プロセスの透明性及び客観性を担保すること等を目的として、2021年2月に指名・報酬委員会を設置しました。また取締役の構成についても見直しを進めるなど、今後もコーポレート・ガバナンスの有効性・透明性の向上に努めてまいります。

■ 資本政策

TOKAIグループの成長、利益水準の向上に応じた積極的な株主還元を実施してまいります。配当性向40～50%の範囲内で配当を行うとともに、自己株取得についても機動的に実施していく方針です。

■経営指標

市場の期待に応えるよう、ROE 及び ROIC の水準を維持するとともに、IP24 の 4 年間を通じて持続的な増収増益を目指してまいります。

(単位:億円)

| | 2020年度 実績 | 2021年度 予算 | 2022年度 計画 | 2023年度 計画 | 2024年度 計画 |
|--------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 売上高 | 1,967 | 2,070 | 2,210 | 2,320 | 2,450 |
| 営業利益 | 152 | 152 | 156 | 165 | 186 |
| 当期純利益 | 88 | 88 | 90 | 95 | 110 |
| 営業CF | 224 | 218 | 230 | 240 | 260 |
| 配当性向 | 44.6% | 40% ~ 50% | | | |
| ROE | 12.7% | → | | | 13%以上 |
| ROIC | 9.2% | → | | | 9.9%以上 |
| 自己資本比率 | 41.6% | → | | | 40%程度 |
| 顧客件数 | 310万件 | 320万件 | 332万件 | 344万件 | 356万件 |

以 上

●関連資料

<https://www.tokaiholdings.co.jp/ir/management/manageplan.html>